

臨床研究に関するオプトアウト

2026年5月7日

当院にて橈骨遠位端骨折の手術を受け、リハビリテーションを実施された患者さまへ

「橈骨遠位端骨折術後における早期スプリント療法の導入が医療経済および治療効率に与える影響：費用対効果分析」

南多摩病院では、橈骨遠位端骨折で手術およびリハビリテーションを実施された患者さまの、診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さまへの新たな負担は一切ありません。また、患者さまのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。あなたの資料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。本研究への参加をお断りになった場合でも、今後の治療を受けるうえで不利な扱いを受けることは決してありません。研究に参加することを同意した場合でも、随時これを撤回できます。同意を撤回する旨の申し出を受けたときは、遅滞なく研究のデータベースから患者さまに関する情報を削除します。

【研究目的】 手首の骨折（橈骨遠位端骨折）の手術後リハビリテーションにおいて、早期からスプリント（装具）を使用することが、治療期間の短縮や医療費の削減にどの程度効果があるかを検証することを目的としております。これにより、将来的に患者さまの負担が少なく、経済的にも効率的な治療法の確立を目指します。

【研究対象者】 2022年4月1日から2027年12月31日の間に、南多摩病院において橈骨遠位端骨折の診断で手術（観血的整復固定術）を受け、リハビリテーションを実施された方を対象とします。

【研究に使用する情報】 通常の診療で記録された以下の情報を使用します。新たに加わる身体的および経済的、医療的負担はありません。 ・基本情報：年齢、性別、診断名、手術日 ・治療情報：骨折の型、リハビリテーションの開始・終了日、スプリント使用の有無 ・評価項目：手関節可動域、握力、通院回数、リハビリ期間、診療報酬点数（医療費）など

【情報の他機関への提供】 本研究は、研究の目的・方法を含め、他機関（東京家政大学）へ当院の保持する情報を提供することについては、医療法人社団永生会南多摩病院倫理委員会より承認を得ております。提供の際は、個人が特定できないよう匿名化した状態で提供します。

【個人情報取り扱い】 個人を特定する情報（氏名やIDなど）については削除し、研究用の番号を付与して匿名化したうえで解析に使用されます。学会や論文での発表時も個人が特定されることはありません。

【本研究の資金源（利益相反）】 利益相反状態とは、「研究結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態」をいいます。この研究では特定の企業からの研究費等は発生しないため、このような利益相反の状態にはなりません。

【問い合わせ先】

研究責任者： 医療法人社団永生会南多摩病院 リハビリテーション科 熊谷 恵

住所：〒193-0832 東京都八王子市散田町 3-10-1 電話番号：042-663-0111

共同研究者： 東京家政大学健康科学部リハビリテーション学科 教授 斎藤 和夫

住所：〒350-1398 埼玉県狭山市稲荷山 2-15-1 電話番号：04-2955-6071

研究不参加申出書

研究責任者 **熊谷 恵 殿**

私は、以下の研究において、自身の診療情報（カルテデータ）が使用されることを希望しませんので、研究対象から除外することを申し出ます。

研究課題名： 橈骨遠位端骨折術後における早期スプリント療法の導入が医療経済および治療効率に与える影響：費用対効果分析

申出日： 西暦 年 月 日 **ご署名：**

（対象者の特定に必要な情報）

フリガナ：

生年月日： 西暦 年 月 日

診察券番号（ID）：

※代諾者が申し出の場合は、代諾者の署名と本人との続柄もご記入ください。